

決算状況をお知らせします

皆さんから納めていただいた税金、保険料などは、町の一般会計・特別会計の財源の一部となり、町の行財政運営に使われました。歳入は72億9,610万円で、前年度と比較して5億3,969万円(6.9%)減少、歳出は68億3,138万円で、前年度と比較して6億864万円(8.2%)減少しました。詳しい決算状況は次のとおりです。

歳入 72億9,610万円	－	歳出 68億3,138万円	－	翌年度繰越財源 54万円	=	実質収支 4億6,418万円
------------------	---	------------------	---	-----------------	---	-------------------

★実質単年度収支(繰越金や基金の出し入れを除き純粋に1年間で出入りしたお金の差)
…7,991万円の黒字

町税の内訳	
固定資産税	12億7,760万円
町民税(個人)	11億8,719万円
町民税(法人)	1億6,584万円
町たばこ税	1億2,524万円
軽自動車税	4,892万円

■A) 町税 28億4,799万円
住民税、固定資産税など皆さんから納めていただいたお金

■B) 繰入金 3億1,355万円
基金等からの繰入金

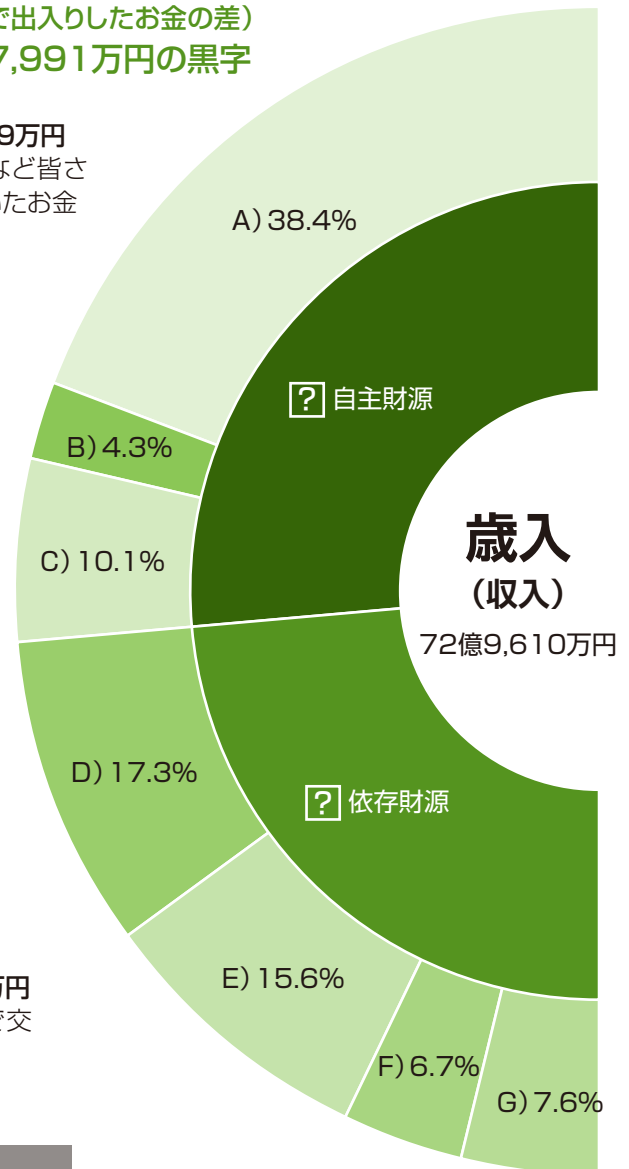
■C) その他自主財源 7億3,231万円
公共施設の使用料、各種証明書交付手数料や寄附金も含まれます

■D) 国県支出金 12億6,361万円
建設事業などの実施により国県から補助、負担されるお金

■E) 地方交付税 11億4,097万円
町の規模に応じて、標準的な財政運営ができるよう国から交付されるお金

■F) 町債 4億8,690万円
建設工事など金額の大きな事業を行うために借入れをしたお金

■G) その他依存財源 5億5,397万円
国に納めた税金から一定のルールで交付されるお金



一般会計

町民一人あたりの収入額	
町税	126,137円
地方交付税	51,312円
国庫支出金	35,366円
町債	21,897円
県支出金	21,461円
地方消費税交付金	18,959円
繰越金	17,799円
繰入金	14,101円
分担金及び負担金	5,741円
その他	15,348円
合計	328,121円

町民一人あたりの支出額	
民生費	109,491円
衛生費	39,372円
土木費	37,148円
総務費	32,703円
教育費	27,219円
公債費	24,567円
消防費	16,783円
諸支出費	11,482円
議会費	3,371円
その他	5,085円
合計	307,221円

自主財源

町が自ら基準を定め、徴収・収納できるお金

(町が自立し、安定した行政活動を進めるためには自主財源の増加が望まれます)

依存財源

国や県の基準に基づき、交付されるお金
(使い道が特定されているものが多く、自由に使うことができません)

平成30年度

■a) 民生費 24億3,464万円

社会福祉、障がい者福祉、福祉医療、児童手当、保育所、子育て支援などの費用

施設型給付(保育)事業	3億9,522万円
児童手当等支給事業	3億7,130万円
障がい者自立支援給付事業	3億4,819万円
乳幼児医療費助成事業	9,740万円



■b) 衛生費 8億7,547万円

保健衛生、ごみ処理などの費用

ごみ収集・処分事業	5億6,830万円
予防接種事業	5,682万円
し尿(浄化)処分事業	4,862万円



■c) 土木費 8億2,602万円

道路、橋梁、河川、都市計画などの費用

排水路改良事業	2億4,339万円
サイクリングロード整備事業	6,613万円
公園等管理事業	4,670万円



■d) 総務費 7億2,719万円

一般事務管理、庁舎等管理、公共施設巡回町民バス運行、徴税、戸籍住民基本台帳、町内会助成などの費用

情報化推進事業	4,692万円
かさまつ応援事業	4,125万円



■e) 教育費 6億525万円

小学校、中学校、学校給食センター、社会教育、保健体育などの費用

教育委員会運営事業	7,684万円
施設型給付(教育)事業	3,239万円



■f) 公債費 5億4,627万円

国や銀行からの借入れに対する返済金

■g) 消防費 3億7,318万円

消防や水防などの費用
常備消防事務事業 3億4,374万円

■h) その他 4億4,336万円

議会、農業振興、商工業振興などの費用

❓ 義務的経費

支出が義務付けられ、簡単に削減することができないお金

